

ツルニンジン

ウェットランドの駐車場に降り立ったとき、1台の車が入ってきて、私の横に止まりました。ご婦人が降りてきて、初めて見る花があったので写真を見てほしいと、携帯電話を捜査し始めました。安田にお住まいのかたで、コミュニティーセンターの M さんに相談したら、ウェットランドに行って聞いてみたらと言われたとのこと。



携帯電話の画面に目を凝らすと、紫の輪のようなものが写っています。つぼ型の花の縁のようですが、画面が暗くてよくわかりません。ただ、背景がごちゃごちゃしているので、つる草ですかと聞くと、肯定。それでは葉っぱがヤマイモのような形ではありませんかと聞くと、これまた肯定。そんなやり取りから、ウマノスズクサではないかと思当をつけました。以前このコーナーでお伝えした、オキクムシ=ジャコウアゲハの食草です。葉っぱだけなら身近なところでよく見かけますが、花はめったに咲かないらしく、図鑑でしか見たことがありません。安田で花が咲いているのなら、是非とも自分で撮影しておこうと思いました。

翌朝、M さんに現場を案内してもらい、指差す先を見てびっくり。葉も花もウマノスズクサとは似ても似つかない、初めて見る植物です。ただし、図鑑で見た記憶があります。ホタルブクロに似ていますねという M さんの感想は的を射たもので、どちらもキキョウ科のところに載っていたはずです。管理棟に帰って図鑑を開き、ツルニンジンに間違いないと確認しました。名前の由来は、根の形が朝鮮人参に似ているからだそうです、偽物として出まわったこともあるそうです。そのためか、今では希少な存在です。見つけても掘らないでくださいね。

ところで、前日、葉がヤマイモに似ていないかとの問いにご婦人が肯定されたこと、不思議に思いませんか。現場は複数のつる草が絡み合っていて、その混雑の束の中に本物のヤマイモも参加、どれがどいつの葉っぱやら、という状態だったのです。